

「高齢者肺結核入院患者におけるイソニアジド、リファンピシンを含む
抗結核薬治療の薬物有害反応のリスク因子の同定に関する後方視的研究」
臨床研究へのご協力のお願い

日本において、結核にかかる人は年々減少傾向にあります。先進国の中ではまだ多いのが現状です。その要因の一つとして高齢者の結核発病が挙げられ、高齢化社会の中で今後も高齢者の結核が問題となることが予想されます。

80歳以上の高齢者の多くは結核発症時に身体機能が低下しており、合併症も多いため結核治療に伴う副作用が現れやすいとされています。80歳以上の高齢結核患者は結核治療中の死亡率が30-40%と高いですが、その理由の一つとして副作用の結果として死亡する可能性も指摘されています。そのため、80歳以上の結核患者における治療に関する副作用を起こしやすい人を明らかにし、そのような方には薬の量や投与方法の工夫などにより安全に治療をおこなっていくことができると考えます。

そこで、当院で2012年9月から2018年12月までの間に肺結核にて入院された80歳以上の患者さんの診療録に記載されている病状、検査結果、治療経過の情報をまとめ、抗結核薬による副作用を起こすリスク因子の検討をします。

患者さん個々の情報は匿名化された状態で取り扱われます。情報の取扱いや安全管理に当たっては、関連する法令や取り決め（「個人情報の保護に関する法律」、「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」など）を遵守しています。

本研究結果が専門の学会や学術情報誌に発表されることもありますが、患者さんのプライバシーは十分に尊重されます。結果発表の際に患者さんの個人に関する情報（氏名など）が外部に公表されることは一切ありません。

ご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望される場合は下記の連絡先までご連絡ください。患者さんに関する研究データを削除します。データ利用を拒まれることで患者さんに不利益は生じません。ただし、すでに研究結果が論文などで公表されている場合には、その結果を訂正できませんのでご了承下さい。

本研究に関する研究計画書および研究の方法に関する資料を入手または閲覧されたい場合、またこの研究に関して質問、相談されたい方は、下記の連絡先までご連絡ください。

連絡先：〒465-8620 愛知県名古屋市長区梅森坂 5-101

国立病院機構東名古屋病院 呼吸器内科

研究責任者 八木 光昭

電話番号 052-801-1151（代表）